

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

評価日 平成30年3月31日

団体名	ザ・フレンズ		
事業名	朗読・音読・音訳の提供と学習		
対象経費	108,483円	支援金額	54,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>1、朗読を学びながら、対面での朗読の提供活動を行い、発表会などの機会にはより多くの人に朗読を通し様々な作品を紹介し作品の内容・楽しさを伝えていく事に努め、作品や朗読について互いに語り合いながら友達の輪を広げる。</p> <p>2、朗読の提供を通じて知り合えた人達と共に社会参加をし、地域のつながりの一端を担う。</p>
	<p>内容</p> <p>1、定例会は、毎月1回(第1水曜日・原則)に実施。会員内での朗読の学習や情報交換、また、グループ内発表会の実施。</p> <p>2、専門講師によるワークショップ(講座)の実施。</p> <p>3、朗読発表会の実施。</p> <p>4、高齢者福祉施設への慰問、小学校・児童館等での読み聞かせ当ボランティア活動の実施。</p> <p>5、その他、地域住民の要請に応じ対面での朗読の提供等の実施。</p>

事業の活動実績	<p>1、月1回の定例会の実施(4/5・4/26・6/7・7/5・8/2・9/6・10/4・11/1・12/6・1/10・2/7・3/7)</p> <p>2、小山菜穂子先生による講座の実施。4回(5/17・8/9・11/8・1/24)</p> <p>3、ボランティア活動                  高齢者福祉施設慰問(4月~3月)月1回実施、毎回3人体制で対応。                  学校・児童館での読み聞かせ実施。                  小学校・延べ47回実施 児童館・9月より実施(毎回3人での対応)                  地区いきいきサロン 1回</p> <p>4、朗読発表会                  グループ内発表会 2回 9月・12月定例会後に実施。                  単独での朗読発表会 1回 3月7日午後1時30分~午後4時図書館視聴覚室にて実施。                  (発表会に向けての活動日1/16・1/31・2/4・2/20・2/28・3/6)</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>昨年に引き続き、専門講師による講座を実施でき、朗読の技術が少しずつではあるが身についてきた。</p> <p>また、同じ講師にお願いすることにより、講師と作品の読み合わせをしていく中で、個人の癖や朗読をしていく上での問題点等が分かってき、自主学習にも課題が出てきた。</p> <p>講座や定例会での朗読の学習をする中で、朗読に対する会員の姿勢が変わってき、いろいろな作品を朗読して聞いてもらおうという意欲が出てきた。また、一つ一つの作品の中にある情景を伝えていく事の難しさを感じている。</p> <p>老人施設等へ慰問に行き、朗読を聞いてくださる方が笑ったり、涙してくださる喜びとともに、その作品の世界をしっかりと伝えることができるよう朗読の技術を一層磨かなければいけないと思う。</p> <p>グループ内の発表会を2回し、公開の発表会を3月に実施したが、”聞きに来てくださる方にしっかりと作品の世界を届けたい”と、12月に決定後毎週1回の練習日を設け会員相互で聞き合ったりした。発表会では、聞きに来てくださった方に満足していただけたようで、「次は何時ですか?また聞かせて下さい。」との言葉が頂けた。会員もこの発表会で、朗読の難しさも感じたが、一人ひとり自信がついてき、今後の活動にも一層意欲が湧いてきた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>講師の謝礼について、講座の実施日を講師が他の所用で佐久に来る日と同日に設定でき、旅費分が減額できたため。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>講座や発表会を通して、朗読の技術や作品の世界の深さを知ると共に、改めて朗読の楽しさを感じ、難しい中にもいろいろな作品に取り組むことができるようになってきた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>朗読の学習を重ね、その技術を磨くことで、いろいろな作品に挑戦し、ボランティア活動等いろいろな機会を使って、その作品の世界・楽しさを自分たちの朗読で提供し、多くの人と交流していく。</p> <p>また、朗読の世界の楽しさを知る、多くの仲間を増やしていく。</p>
---------	---